

おたスペ通信 #4

2025年12月

11 (辛未年) 1月 9日

($\leq 10^{-4}$ 瓦)

お久しぶりです！マリホです。なかなか高頻度でいたスへ
通信を発行できずすみません。たたこ、書いたいことは山のように
あるので、iPhoneのメモが大変でよこにしています。

さて、お盆も明けて大分朝晩が涼しくなりましたね。徐々に秋の訪れを感じ、少しうれしい気持ちになります。そんなこんなで前号発行からも月日が経ち、その間もたくさんイベントを行いました！ ベンチをつくり、ZINEをつくり、DJ講座をしたり…。楽しいだけのイベントに見えよかも知れぬけれど、どうぞ、楽しむ機会をつくすこと自体に価値があると思ってやっています。そして参加者の皆さん、笑顔や

また、2人1組でつくったベンチでは、二つまでに完成度や形が「バラバラ」で、個性が「活きてこない」とおもなったのです。ゆたスペ店前や空き地に置く予定でするので、ぜひ見比べてみて下さい。

よつばステキな宿に出会ふに、ステキな建築士さんに出会ふた。そして宿のコアパートも明確になつてきた。やはり同じことは良くないなど思つたやうに、着実にやることで、宿の近隣住民の皆さんにも受け入れてもらつたと感じた。とまあ、立ち止まるといつもキーワードで車々と並んでしまつたが、言ひたまゝは立ち止まる必要がなくとも、立ち止まると速度をゆるめてゆる、いつもの生活速度の60%くらいで過ごしてゐるが、良いのでは。そんな二つほど、来年春にはまた敵は宿ができるのをもう一ヶ月待つて、応援してくださる皆さん、いつも応援してくつてあります。



2025年4月頃に、「夏に民泊オーナーします」と宣言してしまい、その頃はまだミニマムでも運営開始できたらと考えていただけで、やめたまでもまだ一年経っていない状況なのに、どこか先走っていた。何が良いニースにはまだ求められていないことをしばらくしてから感じて、どうな気もする。やはりこのやったあとまずは定着させることで、利益を出さず状態に陥ると向きたかったのに、宿のオーナンは来年春に運営を決断をした。不思議なことに、そのように決断したが、とても参考になる

立ち止まるのは怖いけど
立ち止まって考える。

WATASUPE 1st ANNIVERSARY ♪



↑1周年の日に集まってくれた皆さん。
ありがとうございました！

10月20日、晴れの東へ
スが一周年を迎えました！
日頃より訪ねてくださいました
のおかげで何とへ続けますので
きります。本当にありがとうございます。
一ヶ月はアラバートでモダチ
な出来事があり、な人と夫がでま
ましたり。働き手が増えて助か
ります(笑)。なにより千人と
してのスタッフの結束力がとても高
まりますと実感します。
スタッフの仲はいつもありがと、
もしかするとや、ソレもしない
けれど、着実に自分の描いていた
未来には近づいています実感が
あります。最近はアントラの
お友だちが関東から階上を目
がけて来て、泊まってこだり。
また歩きしたり、釣りをしたりで
とっても喜んでくれますので、階上での
可能性、アントラにはやはり
高いないと感じています。宿が本
格スタートしたら来いだなあ。



この寒い地で、スキー・スケートなど
ウインタースポーツをやる人は少くない。
ただ、私はそれらの類いのスポーツを苦手
だ。なんというか、物理的に足の裏が地面に
直接触れ合っていいことが苦手すぎる。
・・・とまあ、物理的な地に足問題はおどり。
楽しく生きている人で、どこかどんよりとして
いたり、だにか悲しげや辛さをも向きていて
キレイな力強さやいたいものを感じる。
それとでも魅かれていたうか。
そんなように、きちんと地に足のついた人に
私もなりたい。

のひでる。



他人との暮らし実験である。

今年の3月から、ケントさんとの同居生活が始まつたが、本当に実験実験の日々だなあと思う。私はひとり暮らし歴が長かったこともあり、そもそも結構ひとりの自由な生活が気に入っていた。家族とはいふこと、やはり他人ではあるわけ。できれば良い関係性をいたいと思うが、古につい本音が出てしまつた時や、どうしても自分の機嫌が「保てないとこはいかない」と思つた空気が部屋中を漂う。

絶対的な距離感、絶対的な空気感。こうすれば機嫌が良くなるのか、こうすれば機嫌が悪くなるのか。ひとつひとつ試して学んで、日々生活している（これがやがて楽しかったりする）。

今まよと良くなかった。最初はひとりの自由感が「無くてよたれ」と思つっていたけど、毎晩一緒にご飯をたべりやる人がいるというのも案外ゆるくない。

ちなみにケントさんは、大好きな「まろこじ」を買ってあげると、やはり機嫌がよくなります。



↑真鶴町の素敵な背戸道

編集後記

まずは、第4回の書き上げに相当時間がかかるてしまつたこと、すみませんでした（時間が本当にあと10分に過ぎない）で申し訳ございません。この間、たゞさんのイベントを行ったり、たゞさんの素敵な出会いがありました！

稼ぎはいつもギリギリですが、毎日が本当に樂しいです。周りの人たちにも優しくできました。二ヶ月後もともといた人に伝えていました。そのためにでもここまで迎えます。今年も大変お世話になりました！

地域に根ざす人々を取材する冊子「日常」。編集長は真鶴出版の川口聰さん。私も今月、真鶴出版に宿泊させていただき（真鶴出版は宿兼出版社である）、とても良い体験とメントをいたしました。大好きな宿、まちになつた。全国各地のまちに溶け込んだ宿やお店を特集してしま本。わたすべで販売もしてますので、お手に取れて下さい！ とても読みやすいであります。



日常

一般社団法人まちやど協会